



▲さまざまな種類の山野草や四季折々の写真が展示されました

東和で写真展・春の山野草展開催 工夫を凝らした作品がズラリ

第10回写真展・春の山野草展が5月9日、10日の2日間、米川公民館を会場に開催されました。この展示会は米川山野草愛好会が春と秋に開催しているもので、会場には風景や動植物の写真など約60点と、会員が丹精込めて育てた山野草約260点が展示され、2日間で延べ650人が訪れました。訪れた人たちは、ピンクや黄色の愛らしい花をつけた春の山野草を熱心に観賞していました。また、会場には販売コーナーも設けられ、山野草の苗を買いたい人たちにぎわっていました。

中田で宝江地区民運動会 手に汗握る大激戦!

第3回宝江地区民運動会（同実行委員会、市、市教育委員会共催）が5月16日、市立宝江小学校校庭で開催されました。この運動会は、少子高齢化が進む中、年代を超えて地区住民が集まって、交流や親睦を図り地域や学校を盛り上げていこうとの思いから宝江小学校の運動会と地区の運動会を併せて開催しています。当日は、工夫を凝らした各種競技に地区住民約500人が参加し、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。応援席のテントには声援や笑い声があふれ、大盛り上がりの楽しい1日となりました。



▲白熱したレースに会場からは大きな声援が送られていました

南方で南方町防犯協会総会 安全・安心なまちを目指す

日ごろから市民皆さんが安心して暮らせるようにパトロールなどの活動をしている「南方町防犯協会」の総会が、4月24日に開催されました。総会終了後には佐沼警察署生活安全課の志子田課長さんを講師に招いて「治安情勢と防犯活動について」と題した講演会が開催され、市内でも「振り込め詐欺」事件が起きていることや、被害者の多くは高齢者であることなどについて分かりやすく説明がされました。講演会に参加した皆さんからは、「隣近所にも声掛けをしよう」などといった感想が聞かれました。



▲「振り込め詐欺」の発生状況などについて熱心に聴講する参加者



▲各茶席では見事なお点前が披露されました「遠山之里」

登米で春恒例の茶会 情緒あふれる野だてを楽しむ

市観光物産協会（高橋俊幸会長）主催の「とよま茶会」が4月29日、教育資料館前庭、とよま観光物産センター「遠山之里」、寺池城址公園の3会場で開催されました。登米町の春を告げる風物詩である茶会には、茶道裏千家淡交会宮城支部や三彩流煎茶道が参加し、観光客などに見事なお点前を披露しました。当日は好天に恵まれ、また三陸縦貫自動車道登米インターチェンジがオープンしたこともあり、会場には大勢の観光客や市民が訪れ、情緒あふれる茶会を満喫しました。



▲一面のチューリップを見ようと多くの家族連れが訪れていました

米山で「米山チューリップまつり」 見事に咲いた! チューリップ

昨年から大幅にチューリップの本数が増え、約77,000株もの花が見事に咲き、ますます見ごたえが増した「米山チューリップまつり」が4月25日から5月6日まで、道の駅米山で開催されました。期間中は、近隣の道の駅による物産交流や歌謡ショーなどのイベントが行われたほか、新しい道の駅がオープンしたことなどに伴って、連日会場は大盛況でした。会場に訪れた人は、気に入ったチューリップを購入したり、新しい道の駅でおみやげを買ったりして、思い思いにまつりを楽しんでいました。

森小学校で田植え体験 田植えで地域との交流

森小学校5・6年生による田植え体験が、5月11日に開催されました。この体験活動は、食育および地域とのふれあい活動を目的として開催されたもので、森小学校5・6年生20人が参加しました。森長寿会から田植えの方法について一人一人指導を受けた後、ぬかるむ水田にはだして入り、泥だらけになりながらも苗を一本一本丁寧に植え付けていました。田植え体験をした子どもたちからは「秋の収穫が楽しみ」「うまく植えることができた」との感想が多く聞かれ、有意義な体験活動となりました。



▲ぬかるむ水田に苦戦しながらも、楽しみながら田植えをしました